

# 施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 9月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 1日

## 1 施策の概要

施策名	広域市町村との連携	コード	16-4
この施策の主な内容（細施策）	①広域行政の推進、②市町村合併に向けて		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	関係市町村と連携・協調して、必要な行政サービスの広域的な提供を図る。		
担当部課	部 企画政策部	課等 企画課	作成者 山岸 徹

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

①	施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
			実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値
	指標説明						#DIV/0!	
	指標説明						#DIV/0!	
	指標説明						#DIV/0!	

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	22,585	21,790	21,141	28,589
人件費	2,560	2,560	2,560	2,560
合計コスト	25,145	24,350	23,701	31,149

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

諏訪広域連合における事務事業が順調に行われ、広域サービスが計画どおりに提供できた。平成27年度の消防広域一元化に向け、議論を深めた。市町村合併については、官民ともにその機運は高まっていない。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	特になし
岡谷市の弱み	特になし

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	特になし
不利に働くもの	特になし

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	諏訪広域連合負担金については、広域サービスの提供に必要な不可欠な負担金であり、構成市町村の責務として継続して実施する。
見直しを行う分野	特になし

●27年度の優先度

\* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	23年度	23年度			
							24年度	24年度			
							25年度	25年度			
							26年度	26年度			
1		内部	あり	広域行政事業	—	—	22,580	2,000	標準	継続して実施	/
							21,785	2,000			
							21,136	2,000			
							28,584	2,000			
2		内部	あり	近隣市町村連携事業	—	—	5	560	標準	継続して実施	/
							5	560			
							5	560			
							5	560			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											